ONKAN 授業づくりセミナー 2024

《音楽講座》《鑑賞指導法ワークショップ》 2024年8月9日 《少人数グループ研修》 2024 年 8 月 10 日

音楽鑑賞の授業づくりを行う上で、教材や指導法などについて楽しく考えるセミナーです。 今年度は全て対面で実施し、《鑑賞指導法ワークショップ》《少人数グループ研修》は、それぞれ小学校と 中学校に分かれて行いました。

《音楽講座》「アンデスの音楽」

講師:フォルクローレ演奏グループ ウィニャイ (WIÑAY)

【講座内容】

- 1. 「アンデスの音楽」について:文化や歴史、生活の様子、楽器紹介、演奏
 - 2. ワークショップ楽器体験:チャランゴ、打楽器(ボンボやチャクチャスなど)
 - 3. 全体研修: 踊りの体験と演奏



アンデス地方の歴史や文化、生活の様子につい てのスライドとお話や、数曲の演奏は、ウィニャ イの方々の熱量に圧倒されました。

ワークショップでは、各楽器の材質や背景のお 話に加えて、楽器の大きさによる音の違いの聴き 比べ、衣装を身に着けて太鼓を叩くなど、楽器体 験で盛り上がりました。



ケーナの大きさ による音の違い を聴き比べ



衣装を付けて 太鼓体験

【アンケートより】

・生活の中で音楽が育まれていることが、お話を聞 いてよくわかった。「コンドルは飛んで行く」の 曲の真実も初めて知り、生徒にも伝えたい! と、エネルギーをもらいました。

《鑑賞指導法ワークショップ》

講師:小学校分科会 河﨑秋彦(元取手市立取手東小学校教諭)/中学校分科会 安部文江(小諸市立小諸東中学校教諭)

【小学校分科会】

鑑賞の授業の"楽しい"を見つけよう一聴いて・ 感じて・対話する体験型鑑賞活動のススメー 教材:「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」

(モーツァルト作曲)

ボールを使った音楽ゲームで、演奏の違いによ る曲想の変化を遊びの中から体感しました。

次に、今回の教材に ついて、教材研究に ついてのお話の後、 グループに分かれて、 曲に合ったペープ サートの動かし方を 考えます。



ONKAN 授業づくりセミナー

全体で発表した後、動かし方の様子など、活動の見取り方や、授業で教材を扱う際の留意点について話し合いました。

【中学校分科会】

「音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他 の芸術との関わり」についての指導と評価 教材:「ボレロ」(ラヴェル作曲)

指導事項イ(イ)に焦点を当てて指導をする際の課題や悩みについて共有しました。

その後、「ボレロ」の演奏映像とバレエを視聴しながら、実際に紹介文を作成します。そして、その

紹介文を発表して内容を共有し、どう評価するかを考えます。続いて、その紹介文を書くためには、どんな学習活動が考えられ、そのポイントは何かをグループで検討しました。



《少人数グループ研修》

講師:小学校 井上奈々(千代田区立千代田小学校主任教諭)/中学校 髙道有美子(世田谷区立芦花中学校主任教諭)

【小学校グループ】

鑑賞の授業で悩んでいることを共有し、解決策 を見つけよう

教材:「トランペット吹きの休日」(アンダソン作曲) 「アラ ホーンパイプ」(ヘンデル作曲)

日頃抱えている授業での課題や悩みを出し合い 共有し、解決策などを意見交流しました。

- ・評価方法(体の動きに対する見取り方など)
- ・曲のよさを味わって聴いている姿とは?
- ・ICTの活用(個別・共有) など

次に、教材曲の演奏音源や演奏映像の教材分析 を通して、子どもに聴き取らせたいことや感じ取 らせたいことを考えます。

そして、事前課題として作成した指導案(上記の曲を教材)を全体で共有した後、実際に児童が書いたワークシートから A と評価するものを抽出し、その理由を話し合いました。



【中学校グループ】

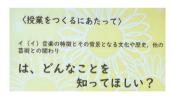
学習評価の3つの観点それぞれの「評価の具体」 を考えよう

教材:「ブルタバ」(スメタナ作曲)

まず、事前課題の「ブルタバ」の指導案を、それぞれの課題や悩みにも触れながら発表し、意見 交流しました。

次に、学習指導要領の指導事項や、教材を通し て生徒に聴き取り感じ取らせたい音楽の特徴を

踏まえ、生徒が書 くと思われる批評 文をA評価、B評 価と判断する内容 で、実際に個々で 作ってみます。



その後、批評文をグループで共有して、B評価を 基準に、Aと判断する理由を全体で発表し、授業 内での見取りのポイントについて話し合いました。

【アンケートより】

- ・他の地域の先生方と交流できてよかったです。
- ・生徒の立場になって授業の組み立てをじっくり 考えることができて、このような時間は大切だ と実感しました。